

## 令和4年度シラバス(保健体育「保健」)

56 新潟県立八海高等学校

教科(科目)	保健体育(保健)	単位数	1	学年(コース)	1学年
使用教科書	大修館書店 「現代高等保健体育」				
副教材	大修館書店 「現代高等保健体育ノート」				

### 1 学習目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。

### 2 指導の重点

- ① 生涯にわたって自己の健康の問題を自ら発見し、解決する資質や能力の育成を目指す。
- ② 学んだことを実生活に活かしていくことができるかどうか。

### 3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康やそれを支える環境作りに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す学習を主体的に取り組もうとしている。

### 4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようとしている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。	生涯を通じて自他の健康やそれを支える環境作りに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す学習を主体的に取り組もうとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・ワークシート</li> <li>・グループ活動</li> <li>・観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・ワークシート</li> <li>・グループ活動</li> <li>・ノートの提出</li> <li>・観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動</li> <li>・ノートの提出</li> <li>・観察</li> </ul>
<知識・技能> : <思考・判断・表現> : <主体的に学習に取り組む態度> = 1 : 1 : 1 とする			

## 5 学習計画

月	単元名	時間	教材	学習活動（指導内容）	評価の観点	評価方法		
4	1 単元 現代社会と健康	5	1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復	国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また健康は、様々な要因を受けながら、生活習慣病などの主体要因や医療や公衆衛生などの環境要因の相互作用によって成り立っていることを知る。	a	グループ活動 (行動の確認)  ワークシート ノート提出 (記述の確認)  定期テスト (理解度の確認)  観察		
5								
6			6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康 9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康				健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践が必要であること。喫煙と飲酒は、生活習慣病の要因になること。薬物乱用は心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。そしてこれらの対策には、個人と社会環境への対策が必要であることを知る。	b c
6								
7								
9		3	12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防	精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であり、また疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを知る。感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取り組み及び社会的な対策を行う必要があることを知る。	a b c	グループ活動 (行動の確認)  ワークシート ノート提出 (記述の確認)  定期テスト (理解度の確認)  観察		
10								
11			4					
12			2				18 健康に関する意志決定 ・行動選択 19 健康に関する環境づくり	健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わっていることを知る。
1		2 単元 安全な社会生活	3	1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全 4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心配蘇生法	安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現できる。 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切に行うことができる。	a b c	グループ活動 (行動の確認)  ワークシート ノート提出 (記述の確認)  定期テスト (理解度の確認)  観察	
2			3					
3			3					

計 32時間(55分授業)

## 6 課題・提出物等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健ノートの活用と提出</li> <li>・単元ごとのワークシートの提出、新聞記事についてのレポート提出</li> <li>・長期休業中の課題等は別途指示</li> </ul>
--

## 7 担当者からの一言

<p>健康についての考え方やスポーツに親しむ習慣、それを支える考え方も時代とともに変化していく。これらの考え方をさらに深め、自らの日々の生活に、さらには今後の人生においても個々に工夫して、学んだことを役立ててもらいたい。</p>
--